

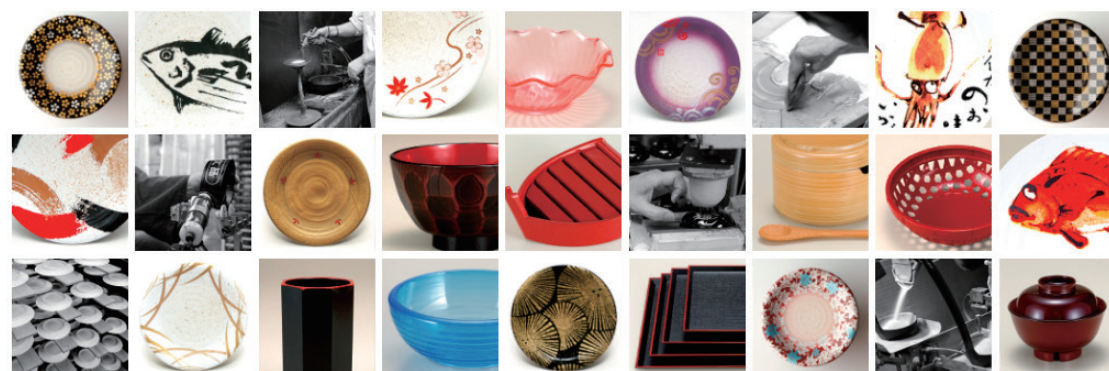
タカノクリエイト 株式会社

〔業種〕 樹脂製業務用食卓用品製造業

事業
計画名

次世代塗装ロボット導入による生産能力
増強、塗膜品質 向上

◆代表者名 小西 広大
◆設立年月日 昭和40年5月1日
◆所在地 〒922-0312
石川県加賀市宇谷町タ1番地5
◆TEL 0761-76-0070
◆FAX 0761-77-3538
◆URL <https://takano-create.co.jp/company>
◆E-mail info@takano-tc.co.jp
◆従業員数 53名
◆資本金額 48,000 千円



環境配慮型食器

事業に取り組んだ経緯・背景

当地の基幹産業である山中漆器は 400 年余の歴史を有し、国内有数の産地として、現在は樹脂に加飾を施した生活雑貨までも生産するに至っている。

その中心的技術である「塗り」は当地の特徴である多品種小ロットの実現に無くてならない技術であるが、職人の高齢化、後継者不足や手塗中心の技術力、生産性低下が大きな課題となっていた。

当社はこの課題解決に向け、高度な加工が可能な三次元データによる塗装ロボットを業界初の試みとして山中の「塗り」に導入した。

事業内容

この次世代型塗装ロボットは、「回転塗装」により、高品質化とランニングコストを抑えた塗装生産を同時に実現し、日本の塗装技術により、当社製品、及び生産方式の付加価値を高めるものである。

回転寿司皿トップメーカーとしてのシェア維持・拡大、安定した営業基盤確立、塗装職人の高齢化、後継者不足、手塗中心の技術力・生産性低下の課題解決に向け、三次元データによる塗装ロボット

を業界初めて導入し、高品質化と低コスト化を同時に実現している。

事業の成果

これまで地元塗装業者を中心とした外注加工を行ってきたことより、コストや納期、品質が業者の事情に左右され、収益面、品質面でクライアントに対し積極的な営業活動が難しかった。

今般、吸排気設備を伴ったクリーンルーム、温度ムラを廃した大容量の乾燥炉 3 基、3 次元データによる塗装ロボット・コンベアシステム、他最新設備の導入により、外注加工費（塗装部門）が大幅に削減されコストダウンが実現し、また手塗から機械塗にシフトすることで塗装仕上りが一定し、短納期、高品質の維持・確保が実現した。

納入先より工業製品化を求められる現状で、公的試験機関等を利用した、品質表示を付した規格化製品の販売を目指している。これにより、相対で秘密保持契約を締結すれば、自社技術及び知見の防衛策ともなり、他社との差別化、独自の強み造りへ一歩踏み出すもとと捉えている。

事業の現在の状況

主力製品の樹脂製食器では、自動会計対応の寿司皿や、年齢・性別・国籍に捕られないユニバーサルデザインを盛り込んだ製品の開発を進めている。海外店舗向けの製品では、現地特有の色彩やデザインの需要に合わせて、顧客獲得につながるビジネスモデルを構築している。

また、ジャストインタイム生産方式で、回転寿司店の在庫負担をなくし、輸入品との価格競争力が発揮できたことで、海外企業から輸入している企業が当社製品へシフトするよう取組んでおり、これにより寿司皿の国内生産でトップシェアを保っている。

環境問題対応した塗り物PET樹脂製の寿司皿を、業界で初めて製品化した。ペットボトルと同じ素材を塗り物用・レンジ対応用の用途別に新素材を開発。その特長は①環境ホルモンを含まない、②燃やしてもダイオキシンが発生しない、③塗り加工が施されたまみりサイクルできる、④耐熱性が高い、⑤臭気がなく味移りしない等である。環境に配慮したエコな製品は軽くて割れず、積み上げられるという機能を持ち、今までに無い製品を実現できた。



商品



社屋外観



カタログ表紙

【得意分野】
業務用樹脂製食器の製造販売

【主要取引先】
大手回転寿司チェーン、ファミリーレストランや焼肉店、各種外食店

【商品】
回転寿司寿司皿、ファミリーレストラン・飲食店向け食器、機内食食器等

【代表者からの一言】
当社はデザイン設計から成型・製造まで一貫したシステムで、製造・販売、複雑形状や多品種小ロット等、顧客の要望に対応し柔軟な開発体制により、大手回転寿司チェーンで使用されている寿司皿では国内でトップシェアを維持しています。



代表取締役社長 小西 広大